

平成24年度事業の展開イメージ

NPO法人まちづくり学校

H21~23の実績より

ミニ茶話会

- ・ 特定課題についての情報交換、共有

新しい福祉のネットワークづくり交流会

- ・ 福祉分野同士の連携促進
- ・ 福祉以外の異分野との連携促進

現場訪問ツアー

- ・ 現状把握、情報共有

配食サービス小冊子

成果!

各福祉分野（障がい者／高齢者／子育て／ボランティア）の現状を知るだけでなく、お互いに顔の見える関係が構築されてきている。

次のステップに進むヒントは、
H22 に実施した「配食サービスを考える会」にあり！

【H24 実施方針】

地域福祉の具体的な課題をピックアップし、その課題解決に向けたアクションを起こす“きっかけ”を、学び舎事業の中で提供する。

II

具体的な課題解決のための実験プロジェクトを2つ展開！

【H24 事業展開イメージ】

第6回福祉のネットワークづくり交流会 (H24.7 開催)

⇒区内の福祉ネットワークを活かし、互いに協力しあうことで解決できそうな課題・具体事業のアイデア出し、絞り込みをワークショップ形式で行う。

例えば ...

ボランティアに参加する人を増やす取り組みをやってみよう！

「ボランティア倍増プロジェクト」

<事業コーディネーターの役割>

プロジェクトの企画運営に参画するメンバーを募集し実行委員会を発足

実行委員会の運営

「ボランティア倍増プロジェクト実行委員会」

実験プロジェクトの実施 (H24.6~H25.2)

①実行チーム編成

②24年度の達成目標／行動計画作成

③行動計画に基づいてアクションを起こす

例：検討会・意見交換会の開催
実験イベントの実施 等

<達成目標>
若者がボランティアに参加してくれる仕組みをつくる

<行動計画>
①大学のボランティアサークルや若者関連の組織との意見交換会開催
②意見交換会の結果を踏まえ、若者がボランティア参加しやすいプログラム・機会を企画・開催
③継続的に参加してもらえる仕組みづくりに関する意見交換会開催

<事業コーディネーターの役割>

実行委員会内でワークショップ(3回)を実施し、行動計画を作成

第7回福祉のネットワークづくり交流会 (H25.2 開催)

⇒実験プロジェクトの成果報告と今後の進め方に関する意見・情報交換をワークショップ形式で行う。
⇒実験プロジェクトに関連したパネルディスカッションを行う。

行動計画に沿って実施

成果の検証／継続させる仕組みの検討

<事業コーディネーターの役割>

プロジェクト実施に関する
・ 広報支援 (チラシ・広報紙作成)
・ 運営支援
・ 成果のとりまとめ

報告・情報共有